



『やさしいかたな』が目指したもののや主要内容は少しも陳腐化していませんが、世の中の変化を見据えて不断に見直しをすることは必要です。今回、編集委員会では改訂を想定し、以下のような検討を行っていました。皆さまからも建設的なアイデアが寄せられますことを期待しています。

現状の体裁はA五判、中とじ、本文二四ページですが、基本はこれを踏襲すべきとの意見がほとんどです。ただし、横組みで見やすくし、近年の類似書に倣って本文を四色・二色とすることもあるでしょう。情報量によっては、最大三二ページとなります。

す。平成二十五年の第四版出来時には、希望者に三〇部まで無料、それを超える場合は有料で頒布しましたが、次回も一定部数以上は、制作実費を勘案した有料頒布となるでしょう。

定して証書に記名します。相統に際しても同様です。刀剣評価鑑定士は、既に公的な業務として機能しているのです。

日本刀の
名品・名刀を販売
店主 小暮 昇一
〒529-1131
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1
TEL 0749-421273
携帯 090-3162176
http://www.goushuya-nihontou.com

代表
田中 勝憲
〒153-0051
東京都目黒区上目黒四-3-11
TEL 03-371-0676
03-371-0896
FAX 03-371-0677

刀 買取 委託
e-sword
〒350-1115 埼玉県川越市野田町1-4-19 1F
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407
刀 通販サイト
www.e-sword.jp
日本刀 イーソード 検索
mail:info@e-sword.jp
イーソード
(株) e-sword 平子誠之

刀剣・書画・骨董
和敬堂
土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください！
連絡先 090-8845-2222
代表者 高 島 吉 童
東京都北区滝野川 7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀剣の所持について正しい知識を知ってもらおうと、冊子『やさしいかたな』を刊行したのは平成三年。あれから三〇年以上がたち、新たなニーズも寄せられています。

『やさしいかたな』改訂版発行に向けて
この三十余年間に、発見届に基づく登録が広く行われ、所有者変更届の提出が徹底してきたことに、本書の果たした役割は小さくなかったと考えます。

この三十余年間に、発見届に基づく登録が広く行われ、所有者変更届の提出が徹底してきたことに、本書の果たした役割は小さくなかったと考えます。

警察庁・文化庁の指導を得て
現状の体裁はA五判、中とじ、本文二四ページですが、基本はこれを踏襲すべきとの意見がほとんどです。

定しています。
（第七号議案）一組員に対する貸付け、または一組員の為にする債務保証の残高の最高限度額に関する件
（第八号議案）役員改選に関する件
（第九号議案）その他
八、総会議事終了宣言
九、閉会の辞

（第一号議案）令和四年度
（第二号議案）令和五年度
（第三号議案）令和五年度
（第四号議案）役員報酬の件
（第五号議案）経費の賦課及び徴収に関する件
（第六号議案）令和五年度借入金残高の最高限度額に関する件
（第七号議案）一組員に対する貸付け、または一組員の為にする債務保証の残高の最高限度額に関する件
（第八号議案）役員改選に関する件
（第九号議案）その他
八、総会議事終了宣言
九、閉会の辞

『やさしいかたな』改訂版発行に向けて

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL
刀 剣 界
2023.4.15 No.66
発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com/

第66号編集担当	赤荻 稔	飯田 慶雄
伊波 賢一	大平 岳子	嶋田 伸夫
生野 正	瀬下 明	土子 民夫
土肥 豊久	服部 暁治	深海 信彦
冥賀 吉也	持田 具宏	吉井 唯夫

刀 剣 界

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、**記事を募集しています**。ニュースや催事情報、イベント・リポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

- で盛んに焼かれた刃文は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①簾刃 ②皆焼
- [問 50] 正宗十哲に属さない刀工は、次の誰か。
- ①備前長義 ②宇多国宗
- [問 51] 現代にまで代々伝わる月山一門が得意とする地肌を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①綾杉肌 ②梨子地肌
- [問 52] 「関の孫六」と称される刀工は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①兼元 ②兼定
- [問 53] 江戸前期の尾張徳川家に剣術指南役として仕え、同国の刀や鐔に影響を与えた剣客は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①宮本武蔵 ②柳生連也斎
- [問 54] 鎌倉時代中期の太刀に多い切先の形状はどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①猪首切先 ②大切先
- [問 55] 「濃州関住兼定」の刀を収めた歌仙拵は誰の差料か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①細川三斎 ②織田信長
- [問 56] 新刀の中でも明和（1764 ～ 72）以降に活躍した刀工の作を特に新々刀と呼ぶ。薩摩国の刀工は両期にまたがって活躍しているが、新々刀に属す刀工は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①一平安代・主水正正清
②伯耆守正幸・奥元平
- [問 57] 文化・文政のころ、鍛刀の技を鎌倉期の刀工に倣えと復古主義を唱えた人物は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①鎌田魚妙 ②水心子正秀
- [問 58] 日本刀はかつて帝展（現在の日展）に出品を認められたことがある。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 59] 靖国刀とは、昭和 8 年から 20 年まで財団法人日本刀鍛錬会に属す刀工が靖国神社境内で製作した日本刀である。その総数は次のいずれか。正しいものを選びなさい。
- ① 8,100 ② 12,100
- [問 60] 入札鑑定において、河内守国助（初代国助）と「同然」となるのは誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①和泉守国貞（親国貞） ②伊勢守国輝
- [問 61] 入札鑑定において、主水正正清と「時代違い通り」となるのは次の誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①一平安代 ②左安吉
- [問 62] 入札鑑定において、土肥真了と「同然」となるのは次の誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①鈴木加賀守貞則 ②信国吉政
- [問 63] 三所物とは、同じ作者が同じ意匠で製作した揃金具である。その組み合わせは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①鐔・小柄・拵 ②小柄・拵・目貫
- [問 64] 江戸時代の名工で、「奈良三作」と呼ばれる金工は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①政随・乗意・安親
②利寿・乗意・安親
- [問 65] 拵の鞘や白鞘の内側に、脱着可能な鞘が二重に設けられている例がある。これを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①入子鞘 ②休め鞘

- [問 66] 装剣金工の祖と呼ばれる後藤家の初代は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①祐乗 ②徳乗
- [問 67] 鐔を挟んで固定する金具を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①鵜目 ②切羽
- [問 68] 短刀の拵で鐔のない形式を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①合口拵 ②小さ刀拵
- [問 69] 太刀に付く鋤で一般に見られるのはどちらか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①二重鋤 ②一重鋤
- [問 70] 埋忠鐔の説明で、正しいのはどれか。次の中から選びなさい。
- ①室町時代中期に土佐国で作られた
②桃山時代以降に山城国で作られた
- [問 71] 金家の鐔の説明で、正しいのはどれか。次の中から選びなさい。
- ①桃山時代を中心に山城国伏見で作られた
②室町時代中期に山城国や尾張国で作られた
- [問 72] 帝室技芸員に刀剣では宮本包則と月山貞一が選ばれているが、彫金（金彫）も 4 名が選ばれている。それは、加納夏雄・香川勝広・塚田秀鏡ともう 1 人は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①海野勝珉 ②後藤一乗
- [問 73] 江戸時代中期から後期にかけて栄え、代々の嫡流が「味墨」の号を用いた金工一派は何家か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①浜野家 ②菊岡家
- [問 74] 甲冑で蝶番を使わないものはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①二枚胴具足 ②大鎧
- [問 75] 兜と胴の間に装着される防具で顔面に装着しないものはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①眼の下頬 ②喉輪
- [問 76] 1 領の当世具足に対し、同一デザイン・同一寸法の鎧櫃が 2 つ付属する例がある。次の中からその正しい呼称を選びなさい。
- ①一荷櫃 ②二荷櫃
- [問 77] 次の甲冑師集団のうち、九州で活躍したのは何派か。正しいものを選びなさい。
- ①早乙女派 ②宮田派
- [問 78] 現存する火縄銃の中で最も多数を占めている製作集団は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①阿波系鍛冶 ②国友系鍛冶
- [問 79] 刀匠になるためには、一人の刀匠について（ ）修業する必要がある。さらに文化庁が主催する美術刀剣刀匠技術保存研修会を修了しなければならない。次の中から、（ ）に入る正しいものを選びなさい。
- ① 5 年間 ② 7 年間
- [問 80] 刀匠が製作を許可される短刀・脇指の数は、月に 3 振であるが、刀・太刀などの場合は月に何振か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 1 振 ② 2 振
- [問 81] 土取り（土置き）とは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①刀の原料の砂鉄の採り方
②刀の焼刃土の塗り方
- [問 82] 刀剣は焼入れの際に、一瞬内反りとなった後、本来の反りが生じる。○か×か。

- ①○ ②×
- [問 83] 刀身の焼き入れの後で、出来や傷を確認し、姿や肉置きを整えるために刀匠本人が大まかに研ぐ作業を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①荒研ぎ ②鍛冶押し
- [問 84] 刀を研ぐ砥石の順番で正しいのはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①荒砥―備水砥―改正砥―名倉砥―細名倉砥―内曇砥
②荒砥―備水砥―改正砥―内曇砥―名倉砥―細名倉砥
- [問 85] 刀の切先を仕上げる研磨手法を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①みがき ②なるめ
- [問 86] 白く刃取りをしない刀の研ぎを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①差し込み研ぎ ②化粧研ぎ
- [問 87] 刀の地肌や刃文を表す主要な天然砥石は内曇砥である。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 88] 古来、日本刀の手入れに用いる「打ち粉」の中身の主要粉末は、内曇砥である。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 89] 杓目が緻密で、年輪と年輪の間の堅さが均一なために、白鞘に使用される木材は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①朴 ②榿
- [問 90] 白鞘などに使われる糊は、米飯を練った米糊（続飯）である。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 91] 拵の角処として使われる主たる材料は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①象牙 ②水牛の角
- [問 92] 柄巻きなどで使用する鮫皮とは、何の皮か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①マンボウ ②エイ
- [問 93] 柄巻きの巻き方の名称で、使われないものはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①撮み巻き ②両手巻き
- [問 94] 折紙には「代金子百枚」などと記されているが、1 枚は何両か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 100 両 ② 10 両
- [問 95] 重要美術品の認定が行われた期間はいつか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①大正 3 年～昭和 24 年
②昭和 8 年～ 24 年
- [問 96] 平成 31 年 1 月現在、国宝に指定されている刀剣類は何点か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 122 ② 251
- [問 97] 新刀および新々刀に国宝はない。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 98] 重要美術品は、国に申請して許可が下りれば、海外に輸出できる。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 99] 五畿内とはどこを指すか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①山城・大和・和泉・河内・摂津
②備前・山城・大和・河内・摂津
- [問 100] 現在の鳥取県の昔の国名は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①因幡国 ②石見国

①	①	①	①	①	②	②	②	②	②	①	①	①	①	①	②	①	②	①	②	②	①	②	②	①
問76	問77	問78	問79	問80	問81	問82	問83	問84	問85	問86	問87	問88	問89	問90	問91	問92	問93	問94	問95	問96	問97	問98	問99	問100
①	①	②	①	①	②	②	①	②	②	②	①	②	②	①	①	②	①	②	②	①	①	①	②	②
問51	問52	問53	問54	問55	問56	問57	問58	問59	問60	問61	問62	問63	問64	問65	問66	問67	問68	問69	問70	問71	問72	問73	問74	問75
①	①	①	②	②	①	①	②	②	①	①	②	②	②	①	①	①	①	②	②	①	②	①	②	②
問26	問27	問28	問29	問30	問31	問32	問33	問34	問35	問36	問37	問38	問39	問40	問41	問42	問43	問44	問45	問46	問47	問48	問49	問50
②	②	②	①	②	②	②	②	①	②	①	①	①	①	①	①	①	②	②	②	①	②	①	②	②
問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20	問21	問22	問23	問24	問25

■刀剣評価鑑定士は令和元年 4 月 17 日に第 1 回認定試験を実施し、40 名の有資格者が誕生しました。その試験問題を再録しますので、取り組んでみてください。時間は 60 分で、100 問中、80 問以上の正解であれば合格です。

第 1 回「刀剣評価鑑定士」認定試験 問 題

主催／全国刀剣商業協同組合
監修／公益財団法人日本美術刀剣保存協会
公益財団法人日本刀文化振興協会
一般社団法人日本甲冑武具研究保存会

正しいと思う数字を選んで解答用紙に記入のこと。

- [問 1] 銃砲刀剣類を譲渡あるいは相続した場合、() に所有者変更届を登録の事務を行った都道府県の教育委員会に提出しなければならない。空欄に当てはまる正しい語句を下から選びなさい。
- ①すみやか ② 20 日以内
- [問 2] 登録証現物ではなく写しを付帯して研磨を依頼したが、問題はないか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①現物紛失の恐れがあるので、写しでやむを得ない
②登録証は刀剣類とともに移動しなければならない
- [問 3] 登録後の刀剣類を研究もしくは修理のため、または公衆の観覧に供するため貸付または保管の委託をした場合であっても、所有者変更届をしなくてはならない。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 4] 刀の実際の長さ登録証に記載されている長さが異なる場合、届け出る必要があるが、届け出るのはどこか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①その刀が登録されている都道府県教育委員会
②居住地を管轄する警察署
- [問 5] 登録証の付いていない刀を見つけたとき、まずどこへ届け出るか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①居住する都道府県教育委員会
②居住地を管轄する警察署
- [問 6] 日本刀を輸出する場合の登録証の取り扱いについて、次の中から正しいものを選びなさい。
- ①登録証を添付して輸出する
②輸出した後、登録証は交付された都道府県教育委員会に返納する
- [問 7] 無銘の刀を鑑定審査に出したところ、「長船兼光」に極まったので、ペンで登録証に書き加え、それとわかるものにした。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 8] 現代刀に入っていた所持者銘を消したが、銃砲刀剣類登録証について内容変更の届出はしなくてよい。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 9] 登録証を紛失したので再交付をしてももらったが、後で旧登録証が見つかった。旧登録証の扱いについて、次の中から正しいものを選びなさい。
- ①旧登録証は無効であるので、教育委員会へ返納する
②旧登録証は有効なので、再交付登録証を教育委員会へ返納する
- [問 10] 海外へ銃砲または刀剣類を輸出または持ち出す際の「古美術品輸出鑑査証明」の有効期限は発行日からどれだけか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 1 カ月 ② 1 年
- [問 11] 火縄銃を輸出する場合の手続きで正しい記述は、次のいずれか。
- ①文化庁の古美術品輸出鑑査証明を取得しなければならない
②文化庁の古美術品輸出鑑査証明と経済産業省の輸出許可を取得しなければならない
- [問 12] 日本刀を買い受け、もしくは交換し、または売却もしくは交換の委託を受けようとするときは、相手方の住所、氏名、職業および年齢を確認しなければならないが、その義務が免除される金額はいくらか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 1 万円以下 ② 3 万円以下
- [問 13] 品触れを受けたときは、当該品触れに係る書面に到達の日付を記載し、その日からこれを保存しなければならないが、その期間はどれだけか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 6 カ月間 ② 1 カ月間
- [問 14] 品触れの保存期間中に当該品を誤って譲

- 受した場合、買い主はどのようにしなくてはならないか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①無条件で返却する
②代金引換で返却する
- [問 15] 防犯三大義務とは、「取引相手の確認義務」「不正品の申告義務」「帳簿等への記録義務」である。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 16] 古物商許可を受けてから 6 カ月以内に営業を開始しなかったり、6 カ月以上営業を休止すると、許可が取り消される場合がある。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 17] ホームページのトップページには、「古物商の氏名または法人の名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の 3 点を表示しなければならない。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 18] 古物商の欠格事由で、正しいのは次のいずれか。
- ①古物営業の許可を取り消されてから、5 年を経過しない者
②古物営業の許可を取り消されてから、3 年を経過しない者
- [問 19] 古物商本人が行商を行うときには古物商許可証を携帯しなければならないが、古物商が従業者に行商を行わせるときに携帯させなければならないのは、次のいずれか。
- ①身分証明証 ②行商従業者証
- [問 20] 古物商が一般人から入手した古物が盗品または遺失物であった場合、被害者等が無償でその古物の返還を請求できる期間で正しいのは、次のいずれか。
- ①その盗難または遺失のときから 1 年間
②その盗難または遺失のときから 2 年間
- [問 21] 古物の買入および売却の記録（古物台帳、帳簿、伝票等）を営業所等に保存しておかなければならない期間で正しいのは、次のいずれか。
- ①最終記録日から 3 年間
②最終記録日から 5 年間
- [問 22] お客さまから「平日は自宅にいないので、勤務先に古物を引き取りに来てほしい」と依頼され、指示に従った。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 23] 古銭は古物扱いにならない。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 24] 出張買い取りの場合、クーリングオフが適用されるが、適用期間は買い取り書面の交付された日から何日以内か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ① 3 日 ② 8 日
- [問 25] 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）の対象生物の毛皮・象牙・鯨皮等の一部を使用しているが、江戸時代の骨董品であれば、条約違反とならずに輸出は可能である。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 26] 象牙の製品の取引について、正しいのは次のいずれか。
- ①ワシントン条約で国際取引が規制されているが、国内の取引は、特別国際種事業者であれば扱える
②ワシントン条約で国際取引が規制されているが、国内の取引は、古物商事業者であれば扱える
- [問 27] 象牙の製品を取り扱う場合、どこに届け出るか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①一般社団法人自然環境研究センター
②居住地の埋蔵文化財センター
- [問 28] 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）による絶滅危惧種の取り扱いにおいて、原形を保っている生牙・磨牙・彫牙、タイマイなどの剥製には 1 点ずつ登録票を取得し、それを付けて展示・販売をしなければならない。○か×か。
- ①○ ②×
- [問 29] 刀剣の刃長とはどこからどこ長さか。次の中から正しいものを選びなさい。

- ①切先の先端から茎（中心）尻までを結ぶ直線
②切先の先端から棟区まで結ぶ直線
- [問 30] 銘がなくなるまで短くされた刀の茎（中心）の状態を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①区送り ②大磨上げ
- [問 31] 鎚、小鎚、横手の交差する点を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①三つ頭（三つ角） ②ふくら
- [問 32] 刀の造り込みで、横手がなく、鎚筋が切先に抜けるものを何と呼ぶか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①菖蒲造り ②鎚造り
- [問 33] 細かく詰んだ地肌に地沸が細かくつき、肥前刀の地肌の代名詞でもあるものを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①小糠肌 ②綾杉肌
- [問 34] 刀の切れ味を示す言葉に「業物」があり、4 段階の位列がある。2 番目に良いとされるのは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①良業物 ②大業物
- [問 35] 刀の切れ味を切り手の名前とともに茎（中心）に入れた銘を意味する言葉として、適切なものは何か。次の中から選びなさい。
- ①截断銘 ②切り付け銘
- [問 36] 朱銘についての正しい記述はどちらか。次の中から選びなさい。
- ①生ぶ茎（中心）無銘に対して朱漆で書き入れた鑑定銘
②大磨上げ無銘に対して朱漆で書き入れた鑑定銘
- [問 37] 一般的に関物の帽子の特徴とされているのは、次のいずれか。
- ①三作帽子 ②地藏帽子
- [問 38] 江戸時代、京の丹波守吉道と一門によって焼かれたきわめて技巧的な刃文を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①濤乱刃 ②簾刃
- [問 39] 次の〔 〕の中から正しいものを選びなさい。
- 「大坂正宗」と称される刀工は〔①津田助広、②井上真改〕である。
- [問 40] 江戸新刀の有名工長曾祢虎徹の前身は何であったと伝えているか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①甲冑師 ②鉄砲鍛冶
- [問 41] 次の〔 〕の中から正しいものを選びなさい。
- 本荘義胤は新々刀期の水心子正秀や大慶直胤の作品に彫物を彫っているが、彫同作のあるこの期の刀工としては〔①栗原信秀、②山浦真雄〕が有名である。
- [問 42] 次の〔 〕の中から正しいものを選びなさい。
- 茎（中心）に菊紋を切った大坂新刀の刀工に〔①井上真改、②近江守助直〕がいる。
- [問 43] 奥州平泉の豪族藤原氏の繁栄を背景にしたと伝える刀工群は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①宝寿・舞草 ②宇多・藤島
- [問 44] 次の〔 〕の中から正しいものを選びなさい。
- その作品が最も多く国宝に指定されている刀工は〔①長光、②正宗〕の 9 点である。
- [問 45] 次のうち、在銘品の現存しない刀工は誰か。
- ①相州正宗 ②郷義弘
- [問 46] 次の〔 〕の中から正しいものを選びなさい。
- 相州鍛冶の祖と言われているのは〔①新藤五国光、②正宗〕である。
- [問 47] 古刀期の刀匠数が一番多い国はどこか。次の中から正しいものを選びなさい。
- ①美濃 ②備前
- [問 48] 一般に「応永備前の三光」と言われる刀工で正しいのは次のどちらか。
- ①盛光、康光、師光
②盛光、康光、景光
- [問 49] 南北朝時代の相州広光・秋広、山城の長谷部国重などによって始められ、その後各地

刀 剣 界

イベント・リポート

靖國神社「奉納 新春刀剣展」

恒例の刀剣催事に女性パワー全開

東京・九段の靖國神社では、新年三が日の参拝者数が例年およそ十一万人ですが、今年は八万二千人ほどにとどまっているとのこと。それでも境内はコロナ禍とは思えない賑わいで、拝殿にお詣りする長蛇の列が続いていました。そんな中、恒例となった刀剣に関するイベントが開催されました。

●奉納 新春刀剣展Ⅱ「奉納 新春刀剣展」は、元旦から一月十四日まで開催されました。展示は太刀一口、刀四口、脇指五口、短刀五口で、見学者は、刀匠自身による新作刀の解説に熱心に耳を傾けていました。また、写真やイラストも多数展示され、刀の製作の様子などもわかりやすく解説されていました。

●特別企画「実技公開」Ⅱ刀剣研磨（藤代興里・龍哉）刀身彫刻（橋本琇巴）、刀身彫刻（木下宗風）、白鞘（水野美行）の実技公開が行われました。三日からは、全日本刀匠会関東支部の刀匠による刀身の仕立てや土取り、銘切りなどが、また甲冑師による甲冑着用の実演が披露されました。

●現代刀鑑賞会Ⅱ全日本刀匠会関東支部主催の「現代刀鑑賞会」は、現代刀を身近に親しむ目的で始まった鑑賞会で、毎年一月十五日に開催され、今回で十回目となりました。

今年の参加者数は男性十一名に對して女性十九名で、二〇一五年にブラウザゲーム「刀剣乱舞」が配信開始されて以来、女性の愛刀家が爆発的に増えた影響が今も続いています。



水野鞘師による実演風景



熱心に現代刀を鑑賞する皆さん



現代刀の鑑定で全問正解された8名

今回の鑑定刀は川崎晶平・下島房宙・森光廣・小沢茂範各刀匠の四作品でしたが、全問正解者が八名と過去最高の記録となり、出題した刀匠たちをも驚かせていました。八名の天位者には、刀匠が作った。

●福山城築城四百年記念協賛事業 特別展「名刀 江雪左文字——江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語——」

二月四日から三月十九日にかけて広島県福山市のふくやま美術館において特別展「名刀 江雪左文字——江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語——」が開催された。福山城築城四百年記念協賛事業として開催された本展は、同館が所蔵する国宝「江雪左文字」（南北朝時代に筑前国の左文字によって作られた太刀で、戦国時代に北条氏の武将であった板部岡江雪斎の愛刀として知られる）の由緒伝来を掘り下げるというもの。

さらに同作に付随する拵、箱書、刀袋、下げ札のほか、かつて同封され、現在では別離している替え柄や鐔、由緒書、家康より頼宣が拝領したと伝わる紀州東照宮に伝来する「初陣具足」の関連染織品を一堂に集め、当時の美意識を探る、ユニークで学ぶことの多い内容であった。

ほかに尾張徳川家伝来の短刀国光（新藤五）や駿府御分物の短刀無銘延寿国吉（共に個人蔵）、享保名物の刀無銘兼氏（名物分部志津、文化庁蔵）、短刀無銘正宗（名物九鬼正宗、林原美術館蔵）、刀朱銘三木左（個人蔵）、赤銅鳥頸太刀銘貞長（野上八幡宮蔵）、刀銘於南紀重国（和歌山県立博物館蔵）、短刀金粉銘當麻／本阿（名物上部當麻、個人蔵）、などの名刀を展示。



「江雪左文字展」が開催されたふくやま美術館

た母釘小刀などの記念品が贈られました。

取材のお許しを頂きました靖國神社と、全日本刀匠会関東支部のご協力に感謝します。

（写真・報告／トム岸田）

これに、平成三十年に同館に寄贈された国宝七口、重要文化財六口、福山藩主阿部家ゆかりの長義を加えた小松安弘コレクション全てを一堂に展示した素晴らしい展観であった。

なお、本展覧会の図録には詳細な作品解説のほか、同館学芸員の月村紀乃氏や東京文化財研究所研究室長安永拓世氏のコラム、考察が多数収録され、非常に優れた内容となっている。好評につき増刷されたとのことなので、ぜひご覧になっていただきたい。

なお、同館で令和六年二月十八日から開催される特別企画展「正宗十哲」展は、刀剣博物館との共催が予定されている。（飯田慶雄）

組合こよみ (令和5年1～3月)

- 1月13日 組合事務所において服部副理事長と清水専務理事が刀剣評価査定
- 16日 東京美術倶楽部において第8回理事会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・持田理事・吉井理事・冥賀監事・濱崎事務局員
- 18日 組合事務所において深海理事長が刀剣評価査定
- 23日 組合事務所において服部副理事長が刀剣評価査定
- 26日 組合事務所において服部副理事長・清水専務理事が刀剣評価査定
- 27日 刀剣評価査定のため深海理事長と清水専務理事が日本美術刀剣保存協会を訪問
- 27日 銀座貸会議室において資格認定試験についての会議を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・飯田理事・土子民夫氏
- 31日 組合事務所において嶋田常務理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事が刀剣評価査定
- 2月7日 事務所改修工事の打ち合わせのため清水専務理事と嶋田常務理事が来所
- 16日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第66号編集委員会を開催（企画）。出席者、深海理事長・伊波副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・持田理事・土肥富康氏・土子氏
- 21日 服部副理事長・清水専務理事・綱取常務理事が産経新聞社を訪問し、「明美ちゃん基金」に34万円を寄託
- 21日 組合事務所において服部副理事長と清水専務理事が刀剣評価査定
- 24日 組合事務所において深海理事長が刀剣評価査定
- 3月6日 組合事務所において服部副理事長と清水専務理事が買入商品の管理作業
- 7日 銀座長州屋において深海理事長・清水専務理事・嶋田常務理事が事務局員採用につき面接
- 8日 刀剣評価査定のため深海理事長と嶋田常務理事が日本美術刀剣保存協会を訪問
- 10～20日 組合事務所改修工事
- 12日 東京美術倶楽部において『やさしい刀』改訂検討会議を開催。出席者、深海理事長・土肥副理事長・服部副理事長・綱取常務理事・赤荻理事・飯田理事・生野理事・冥賀理事・飯田相談役・土子氏
- 16日 東京美術倶楽部において第9回理事会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・赤荻理事・飯田理事・大平理事・佐藤理事・生野理事・松本理事・冥賀理事・大西監事
- 16日 東京美術倶楽部において常務理事会を開催し、事務局員1名の採用を決定
- 16日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第66号編集委員会を開催（初校）。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・赤荻理事・飯田理事・大平理事・生野理事・松本理事・冥賀理事・土子氏

NEWS & TOPICS

根津美術館所蔵の腹巻が新重文に

東京国立博物館では、大きな展覧会以外にもさまざまな企画展を開催している。

令和五年二月三十一日から二月十九日まで、前後期に分けて開催された特別企画「令和五年新指定 国宝・重要文化財」は三週間と限られた期間であったが、その四六点の展覧リストに目が止まった。

「黒韋威肩取腹巻、大袖付（根津美術館）。重要美術品を経ない刀剣甲冑部門の重要文化財新指定は二〇年ぶりのようだ。しかもわれわれにお馴染みの根津美術館の所蔵である。会期末に駆け込むと、そ

重要文化財に指定された黒韋威肩取腹巻

十九日まで、前後期に分けて開催された特別企画「令和五年新指定 国宝・重要文化財」は三週間と限られた期間であったが、その四六点の展覧リストに目が止まった。

「黒韋威肩取腹巻、大袖付（根津美術館）。重要美術品を経ない刀剣甲冑部門の重要文化財新指定は二〇年ぶりのようだ。しかもわれわれにお馴染みの根津美術館の所蔵である。会期末に駆け込むと、そ

こには背中引き合わせで、古雅な金具が付き、時代を感じさせる小札が並んだ健全な腹巻に対面できた。一体どんな経緯をたどったのか、現れたのだろうか。貴重な資料を重要文化財指定に導いた関係者に敬意を表したい。

根津美術館と云えば、刀装具などの光村コレクションが有名で、多くの人の目を惹きつけてくれているが、整備が進み、今回のめたい指定に至ったようだ。

なお本作は、同館で本年九月二日から十月十五日に開催される「光村コレクションの刀、刀装具、甲冑展」で展示される。ぜひ足を運びたいと思う。（伊波賢一）

アオバ企画(株)
高橋 一
〒130-0012
墨田区大平四一九二一三〇八
TEL 〇三三六二二二三一
FAX 〇三三六一二二五一
メール aobakk@pb.so-net.ne.jp

「登録証問題」を考える 31

事例 44

日本刀の輸出を果たせずに戻ってきた場合でも、既存の登録証を無効化・返納し、再度現物確認審査を受けて新規に登録証を取得し直さなければならなかった事例について述べます。

今回、売却により英国に輸出した現代刀が英国税関より理由不明のまま返送されました。英国人購入者からは手続き書類不備が理由と説明を受けましたが、思い当たる節がありません。しかし、最終的には売買キャンセル、返金を行いました。

輸出送り先に渡らず、税関より返却を受けましたので、物件が維持特定されており、現物確認を受ける必要はないはずです。日本の税関にその旨を説明すると、「税関としては登録証の有効性を登録証交付先が認めれば、現状での返却を行う」と言われました。

そこで登録証交付先教育委員会に照会しましたが、「銃刀法の法令解釈から、輸出手続きをいったん終えた刀剣は、例外なく再度輸入手続きを経なければならぬ」との回答。文化庁担当部署からも同じ回答を受けました。

本件の場合、通常は新規登録になると旧登録証備考欄に付記されている製作承認番号の記載がなくなります。それでは当該現代刀の当初登録申請情報が全て失われますので、文化財情報の毀損に当たると思います。登録証制度の維持遵守は理解しています。しかし、文化財保護の観点からは、本件のように輸出の手続きを経たとしても、現物の維持特定が証明できる刀剣は、現物確認審査を再度行わず、既存の登録情報を維持継続させるべきと考えます。

本件はその旨を訴えたところ、既存登録証の発行教育委員会が新規登録証を発行する教育委員会に

製作承認番号を伝えて、その情報が新規登録証に付記されることになりました。旧登録情報が新規登録証に付記されるという弥縫策を講じてもらったわけです。

本件のような既存登録情報を失う新規登録を極力避けるための柔軟な法令解釈、運用の議論がもっと活発に行われるべきと考えます。

事例 45

印紙をご購入ください

登録証の再交付について、岩手県教育委員会から封書で書類が届いた。再交付申請書を提出し、再交付代金を払うように書かれていた。よく見ると、「支払いは岩手県の印紙でお願いします」とある。岩手県の印紙を購入し、それを書類と一緒に送れ、ということだ。

県外の人間に県の印紙を購入せよ、というのは、何とも不思議な感じである。しかし、特例や例外は認めてくれるだろうか、「ほんとは印紙なんですけど、現金書留でもいいですよ」そんな柔軟な対応をしてくれるのだろうかと期待しつつ、岩手県の担当者に電話をした。そうしたら……。

「再交付のお知らせが来ましたが。代金は印紙を買ってお支払いするのでしょうか？」

担当者「はい、印紙をご購入いただきます」

「でも、現金書留でもいいのでしょうか？」

「それはダメです。印紙を買ってください」

「印紙は東京でも買えますか？」

「東京では買えません。岩手県でのみご購入いただけます」

「あー、どの県も現金書留ですよ。ほんとにダメなんですか、印紙じゃないと」。

「はい、岩手県は印紙なんです」

「印紙はどこで、どうやって買っんですか？」

「案内に書かれている県の所定

の部署へ現金書留で印紙代のお金を送ってください。そうしたら返信用封筒でお送りします」

「それって二度手間ではないですか？ 無駄じゃないですか？ 本当に現金書留ではダメなの？」

「はい、ダメです。現金書留だと処理できません」

「とっても不便ですね。おかしいやり方ですよ」

「はあ……でも、そう決まっているんです」

「今まで、こんな風に文句言われたことはないんですか？」

「ありません」

「こんなやり方は絶対変だと思えますよ。改善を強く希望します」

「はあ、検討はいたします……」

お金の支払いは、今や多様化し、そしてデジタル化が急速に進んでいる。マイナンバーカードを利用すれば、税金ですらスマホを使って支払うことができる時代になっている。

しかし、岩手県は、岩手県でしか買えない岩手県の印紙を、岩手県の所定の部署に現金書留を送って買い、岩手県から返信用封筒で送られてくる岩手県の印紙を、書類とともに岩手県教育委員会に送付する、という二度手間、三度手間のようなことを利用者に強いているのである。

NEWS & TOPICS

岐阜県博で刀剣鑑賞システム「刀剣鑑賞 自由自在」を公開

岐阜県博物館（〒501-3941 岐阜県関市小屋名 一九八九 〇〇五七五 一 二八 一三 一一）では、博物館の刀剣コレクションを超高精細画像で楽しむ、新しい鑑賞システム「刀剣鑑賞 自由自在」を開発した。

このシステムでは、日本刀の超高精細画像の画質を落とすことなく、自由に動かしたり、拡大したりして鑑賞することができ。現在、本館四階ロビーにて公開中。

今後は常設展示の一環として活用するほか、館外での活用も行っていく予定と



刀剣鑑賞 自由自在

旅のつれづれに 13

葦山反射炉と江川邸を訪ねて

「大刀剣市2022」も閉幕し、

コロナの恐怖感も幾分か薄らいできた十一月二十六日「幕末・明治期の鉄研究会」のメンバー八人で伊豆の国市葦山（あしやま）に行ってきました。

この研究会は、平成九年に発足した（一社）日本鉄鋼協会「鉄の技術と歴史」研究フォーラムの分科会として二年前に立ち上げたもの。活動はやむなくZOOM会議やオンラインセミナーなどでのしどろもどろだったが、ここに来てようやく有志による現地見学会が実現した。

葦山と言えば、反射炉である。四十年前も前、社員旅行を二人だけ出し、レンタカーを駆ってここを訪れたことがあるが、その折は古びた馬鹿でかいレンガ炉の前に、理解不能のまま、すごすご引き返してきたものである。

今回行ってみて、驚いた。周囲が様変わりしていたのである。広大な駐車場には観光バスが連なり、瀟洒なガイダンスセンターまで付設されている。そこで映像と展示から予備知識を得た後、反射炉の現場でボランティアによる工程順の事細かな説明を聞く。これで理解ができるれば〇〇である。

すべては世界遺産効果であろう。十九世紀の半ばから二十世紀の初頭にかけて、わが国の重工業分野において急速な産業化を成し遂げてきた「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が平成二十七年七月、世界文化遺産に登録された。構成する国内八エリア・二十三遺産のうちに葦山反射炉も含まれたのである。

江川太郎左衛門英龍（号・坦庵）は偉人である。英龍は享和元年（一八〇一）、幕府の葦山代官を世襲する家に生まれた。葦山代官は伊豆・駿河・相模・甲斐・武蔵にある幕府直轄地の支配を担当する行政官である。能吏として手腕を発揮する一方、海防問題にも深く関心を持ち、いち早く幕府への政策建言を行っていた。

幕府の意思決定は嘉永六年（一八五三）のペリー来航後になってしまいが、英龍の研究はその十年以上も前に開始しており、反射炉建造の命を受けた時、必要な資材と人材を整え、直ちに取掛かることができたのである。

反射炉の目的は鉄製大砲の製造にある。ところで、わが国への鉄砲伝来は天文十二年（一五四三）、大砲は天正四年（一五六七）にポルトガル人から大友宗麟にもたらされたのが最初とされている（青銅製の铸造砲）。しかし、その後

の展開は両者で大きく異なっている。鉄砲が急速に普及したのに対して、大砲は徳川家康が堺の芝辻利右衛門に命じ、慶長十六年（一六一一）に完成させたものが知ら

れるにすぎない（靖国神社遊就館蔵）。しかも、これは铸造砲ではなく、鍛造砲である。

鉄製の铸造砲が登場するのは天保十五年（一八四四）のこと、川口の鑄物師増田安次郎なる者が和銃を甕で溶解する特異な方法で製造したという。

専門家が言うには、铸造砲が作られなかったのは大きさの問題ではない。銅鑄物では大きな梵鐘が七世紀後半から作られており、形状の複雑さに主因があるという。さらに決定的なのは、白鉄が強度はあるものの脆くて粘りがないのに対して、鼠銃と呼ばれるものは靱性に優れているという点である。和銃（たたら銃）は前者、高炉銃は後者である。

つまり、和銃は鑄造物の品質に不利な組成であるため、鑄鉄砲は砲弾発射の衝撃に耐え切れず、破裂を繰り返した。英龍はそれを承知して、高炉銃を調達していたのである。

江川英龍は反射炉の完成を見ることなく安政二年（一八五五）に没するが、子息の英俊がそれを継承し、二年後に連双二基四炉の本体と関連施設からなる葦山反射炉を完成、その後もカノン砲を製造し続けた。

現地では当日、元静岡新聞記者で自然農法を実践する清沢塾の主催者・小長谷建夫氏と、江川文庫主務・橋本敬之氏にさまざま便宜を図っていただいた。ありがとうございました。（土予民夫）



世界文化遺産・葦山反射炉の威容



江川邸に展示されていた源英龍銘の短刀

ブック・レビュー BOOK REVIEW

酒呑童子にまつわる説話の謎解きゲーム

『定本 酒呑童子の誕生—もうひとつの日本文化—』

高橋昌明 著 定価一、五四〇円 岩波書店

酒呑童子とは平安時代、一条天皇の時代、夜な夜な都に現れて、貴族の子女を誘拐し、都人を恐怖のどん底に陥れたモノノケ。一言で言えば、鬼である。

高橋氏は、聖徳太子信仰や中国に伝わる伝説、仏教と文化を育んだ比叡山の役割、水の武士団渡辺党の動向など、さまざまな切り口から取り組み、酒呑童子とは何か、そして中世の人々の恐れと内面世界に、氏なりの道筋と結論を示している。独特の着眼点と個性的な研究手法は流石というほかない。

もともとこの本は一九九一年に中公新書、その後、中公文庫として出版された。その間に、読みやすくなるための工夫もあり、また史料の扱いに関する郷土史家からの強烈なお叱りも糧とし（高橋先生でも史料批判の甘さを指摘されたらしい！）、さらに初版以来の研究の進展、社会の変化、高橋氏自身の新研究を盛り込み、「定本」として二〇二〇年、岩波書店から世に出たのがこの本。

この物語は有名であるし、刀装具の画題として登場することもあり。しかし、物語がどのようになして生まれ、発展し、完成したのか。中世の人々は酒呑童子の物語にどのような思いを込めたのか。そもそも酒呑童子とは何なのか。謎は多い。

高橋氏はこの書の中で「ホビーマニア、そでないような、とにかく、夢中である。酒呑童子説話成立の謎ときゲームにである」と研究中の思いを吐露している。

そう、調べものは楽しい。時間を忘れてしまう。そんな思いで書かれた本は読んでいても楽しい。

作家永井路子先生が、中公新書出版後、『東京新聞』一九九二年九月十三日解説で「盲点にぎりぎり」と針を刺しこまれる思いで、痛い痛い、

と言いつつ、あらためて、ものを考えることの楽しさを味わう。これはそういう本なのである」と述べているが、全く同感である。特に酒呑童子、頼光・渡辺綱と鬼の話、その他の事柄（例えば馬とサル、河童、狸々）は刀剣・刀装具の世界にもなじみがあるので、いろいろ考えるところがあつた。

初めての人はもちろん、既読の人（初版で読んだ人も、文庫で読んだ人も、あらためて集大成とも言えるべき「定本」を読むことをお勧めしたい。

本格的な論文調なので、初めは大変かもしれない。筆者の体験から言うところ、そこを我慢してどうにか読み進めば途中からスッと読みやすくなる。舞台が大江山だけに、そこは山登りなのである。（小島つとむ）

高橋昌明（たかはし・まさあき）一九四五年、高知市生まれ。同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。滋賀大学教育学部教授、神戸大学大学院人文科学科教授。現在は神戸大学名誉教授。日本中世史専攻文学博士。『武士の日本史』『平家の群像—物語から史実へ』『平清盛—福原の夢』『清盛以前—伊勢平氏の興隆』『平家と六波羅幕府』『武士の成立—武士像の創出』など、著書多数。

第二回「刀座」は成功裏に閉幕

コロナ禍による中止で四年越しとなつてしまい、待ちに待たれた日本刀の展示販売イベント・第一回「刀座」が去る四月一日（土）と二日（日）、大阪城ホール内、城見ホールで開催されました。私も初日に取材に行ってきましたので、報告させていただきます。

会場となった城見ホールは、JR大阪城公園駅から徒歩で五分ほど。駅を出ると、左手には大阪城。正面のひととき目立つ丸い屋根の建物、大阪城ホールの一階です。周辺はお花見の名所で、折しも桜が満開を迎えており、国内外から

訪れた観光客と、周辺施設で行われた音楽イベントの観客とが合わさり、すごい人出でした。

少し進むと、刀座の案内板がキラリ。見つけて入場すると、ここも賑やか。見たことある刀屋さんがいる、いる。

東は関東や新潟方面から、西は九州各地から大阪目指して持ち寄った武器の名品を陳列する気迫いっぱい、の三店舗がズラリ。入場者も写真のように大変な賑わい。商品を手に取ってご満悦なお客の姿を目にする度に、刀座実行委員会代表・花田豊広さんのニコ

組織変更した「東古連」

警視庁の協力団体として、長年にわたり私たち古物商や古物市場と関わりの深い東京都古物商連合会（東古連）が、地域再開発の流れに対応し、千代田区神田東松山下町の新築ビル一階に事務所を移したのは二年前でした。

それに伴い、令和三年十二月十四日に一般社団法人東京古物商防犯連盟として法人登記しました（略称はそのまま）。

（社）東古連は、美術品はもちろん自動車・貴金属・書籍など、国内で営業されている古物商の方などなだでも入会できる全国組織となりました。

今まで通り、地元警察署の各講習会サポートや、関係省庁からの連絡事項や各種情報提供などのほか、古物商の標識、古物台帳などの斡旋も行っています。

新しいホームページには、古物関連法案の最新情報に加え、会員専用のログインページもあり、古物営業に必要な情報が得られ、台帳や標識が会員価格で購入できます。

方面別、地域・職域で既に加わっている方も多いと思います。活用されてはいかがでしょうか。

新規入会等の問い合わせ先
contact@tokoren.jp
https://tokoren.jp
(伊波賢一)



京都文化博物館 〒604-8183 京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888 https://www.bunpaku.or.jp/

四百年遠忌記念特別展「大名茶人 織田有楽斎」

有楽斎こと織田長益は天文16年（1547）、織田信秀の子、信長の弟として生まれました。信長・秀吉・家康の下、武将として活躍し、晩年には京都・建仁寺の塔頭である正伝院を再興、隠棲します。正伝院内に建てた茶室（如庵）は国宝に指定され、各地に如庵の写しが建てられました。近代化の中で寺名を改めつつ、正伝永源院には現在も有楽斎ゆかりの文化財が数多く伝来しています。

文化人・有楽斎として名高い一方、武士・長益には悲観的なイメージが付きます。天正10年（1582）本能寺の変では、二条御所にこもる自らが付き従う信忠（信長長男）の切腹後、二条御所を脱出します。このため、京の人々には「切腹を勧めておいて、逃げた男」と揶揄されました。さらにその後、信雄（信長次男）に仕え、家康と秀吉の講和を調整するなど存在感を示したものの、信雄が改易されると今度は秀吉の御伽衆に加わります。関ヶ原の戦いでは東軍として参戦、戦後も豊臣家に仕えましたが、大坂夏の陣の前には家康の許可を得て主人から離れた。

織田・豊臣・徳川の3天下人に仕えて時流を乗り切り、75歳までの長い人生を「有楽斎」として京に隠棲した彼の心中には、どのような思いがあったのでしょうか。戦乱を生き延びた彼の美意識は現代の茶道に息づき、規範とされています。有楽斎の四百年遠忌に当たり、正伝永源院に伝わる文化財を再度調査しました。ここで得られた知見を基に、織田有楽斎という人物を今一度捉え直す展覧会です。会期：4月22日(土)～6月25日(日)



短刀 無銘 貞宗（国宝・名物寺沢貞宗）文化庁蔵（5月23日～6月25日展示）

ニコ顔が重なります。会場では花田さんにインタビューをしました。「どれくらい来られるか心配だったけれど、多くのお客さまにご来場いただけて本当に良かった」「実はね、コロナがなかったら、四回目の開催になっていたかもしれない」と、率直な感想が聞けました。

何の下地もないところからこれだけ盛大なイベントを企画し、実現されるには多くのご苦労があったことでしょう。成功に導かれた花田さんにあらためて「この度はおめでとうございます」と、お祝いを申し上げます。



お客さまで賑わう刀座の会場

文化庁が移転先の京都で業務開始

文化庁が東京・霞が関から京都市に移転し、三月二十七日から業務を始めた。



文化庁の京都移転庁舎

東京一極集中是正を目指す地方創生の一環で平成二十八年に決まったもので、中央省庁の本格的な地方移転は初めて。東京にも拠点を残し、オンラインなども駆使して仕事を行う。京都の歴史・文化を生かした施策や情報発信が期待される。

新文化庁は、京都府庁敷地内の旧府警本館などに入居。この日は都倉俊一長官ら幹部や、先行移転していた職員ら計約七十人が業務を開始した。

他の職員は大型連休中に移り、五月十五日から全体の六割に当たる三百八十人体制で本格的にスタートする。

京都庁舎の所在地は、〒602-8895 京都市上京区下長者町通新町西入敷之内町八五-四 ☎〇七五-四五一四-一

催事情報

■刀剣博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-12-9 ☎03-6284-1000
https://www.touken.or.jp/museum/

鉄の源流—たたら製鉄と日本刀展

たたら—何か神秘的にして、ワクワクするような響きに満ちた言葉かもしれません。そのためか、近年、この技術への社会的関心がますます高まっているようです。粘土で作った炉に砂鉄と木炭を交互に入れ、そして近代科学でも解明できない鐵を作り出す「たたら製鉄」では、たたら製鉄は、一体どのような技術で、どのように鐵が作られ、どのような歴史を歩み、そもそものような道具や人々が要るのでしょうか？ このような疑問にお答えするべく、本展覧会は企画されました。

たたら製鉄には、日本の文化や日本人のものづくり思想が凝縮されています。列島の人々は古来、自然と格闘しながらも決して克服を目指すことはなく、共生・共存・共働を旨とした自然観を持っていました。この自然観をものづくりの面から体現したものが、たたら製鉄です。そして「自然との共生を旨とするものづくり文化」を後世へと伝えるべく活動しているのが「日刀保たたら」です。「日刀保たたら」そのものが「ものづくり文化」の塊といえるでしょう。

本展覧会では、ものづくり文化の重要性をたたら製鉄の歴史と「日刀保たたら」の歩み、その現在のあり方を通じて発信します。ものづくり文化の原点であるたたら製鉄の過去、現在進行形としての今、そして未来へと進んでいく「日刀保たたら」。その歴史と魅力と未来像をこの展覧会ではお見せしたいと考えています。

会期：3月4日(土)～5月21日(日)

■三井記念美術館

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階 ☎050-5541-8600ハローダイヤル
https://www.mitsui-museum.jp/exhibition/next.html

NHK 大河ドラマ特別展「どうする家康」

2023年のNHK大河ドラマは、62作目となる「どうする家康」です。これまで数多く的大河ドラマに登場してきた徳川家康ですが、単独主役は1983年の「徳川家康」以来40年ぶりとなります。

家康が生きた戦乱の世は、まさに予期せぬことが次々に起きる時代。家康は、リーダーとして、たくさんの「どうする？」を突き付けられ、ピンチを招いた局面でも、決して逃げずに答えを出し続け乱世を終わらせました。先行きの見えないのは現代も同じ。今回の大河ドラマでは、家康を現代に通ずるリーダー像として、様々な人間との関係を大切に描いています。

本展覧会では、このNHK大河ドラマ「どうする家康」と連動し、徳川家康のほか、織田信長、豊臣秀吉など、さまざまな戦国武将にまつわる品々や、同時代の美術品・歴史史料などを紹介し、徳川家康と彼が生きた時代を浮き彫りにします。三井記念美術館から岡崎市美術館・静岡市美術館へと巡回する展覧会です。

会期：4月15日(土)～6月11日(日)

〔岡崎展〕 岡崎市美術館 7月1日(土)～8月20日(日)
〔静岡展〕 静岡市美術館 11月3日(金・祝)～12月13日(水)
※出品作品は会場ごとに異なります。

■林原美術館

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2-7-15 ☎086-223-1733
https://www.hayashibara-museumofart.jp/

企画展「戦記×刀—駆け抜けたサムライたちの夢の跡—」

栄枯盛衰は世の常と言われ、いくつもの戦と平和を繰り返しながら現代社会へと繋がっています。今回は時代によって姿形を変えた刀剣の変遷を軸に、平安時代の戦乱を描いた『後三年記』から『平家物語』や『太平記』『蒲生之記』などの戦物語や『古判手鑑』など戦国武将たちの書状、注文打ちの刀剣を展覧し、いろいろな思いを持って生き抜くために刀剣を持ち、太平を夢見て時代を、戦場を駆け抜けたサムライたちの軌跡をご紹介します。

会期：4月15日(土)～6月18日(日)

■清水三年坂美術館

〒605-0862 京都市東山区清水寺門前産寧坂北入清水三丁目 337-1 ☎075-532-4270
https://sannenzaka-museum.co.jp/

幕末・明治の水戸金工

江戸時代、刀の鐔や小柄といった装剣金具の製作において、一大流派を成した水戸の金工。精緻な高肉彫を特色の一つとし、龍虎や人物、花鳥などの図様を生き生きと表現して人気を博しました。特に江戸末期から明治にかけて多くの名工を輩出します。海野勝珉、萩谷勝平、海野美盛らは廃刀令が出された後も輸出向け製品としての装剣金具や調度品などを製作し、名声を高めました。

本展では、当館が所蔵する幕末から明治期に作られた装剣金具、印籠、喫煙具、花瓶などの逸品を展覧します。会期：3月18日(土)～6月4日(日)



会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。現下の状況で入場制限や、観覧するには予約を必要とする場合もありますので、それぞれのホームページをご覧ください。

■致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199
https://www.chido.jp/

時を刻む—酒井家庄内入部 401 年特別展「徳川家康と酒井忠次」

令和4年、庄内藩主酒井家が入部して400年を迎えました。これからの50年、100年、新たな時代を刻む第一歩として本展を開催します。

酒井家初代の酒井忠次は、主君徳川家康の前半生を支え、立身出世に貢献した第一の重臣です。合戦で多くの戦功を挙げ、軍事・内政・外交、あらゆる面で徳川家の支柱となりました。後世には「徳川四天王」に数えられています。

本展では、忠次が家康や織田信長から拝領した国宝の太刀二振をはじめ、酒井家に伝来した貴重な美術工芸品を紹介します。また、岡崎・浜松時代の家康と忠次が、風雲急を告げる乱世をどのように乗り越えてきたか、今に残る古文書や歴史資料からたどります。

会期：4月29日(土・祝)～6月12日(月)



■岡山県立博物館

〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5 ☎086-272-1149
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/

名刀 福岡一文字の光彩

後鳥羽上皇の御番鍛冶として数多く選出された備前の刀工集団「一文字」派の呼称は、天下一を意味する「一」の銘を茎に刻むことに由来するとも言われます。名工則宗を祖とし、鎌倉時代中期には福岡一文字として最盛期を迎え、豪華絢爛な丁子の刃文で一世を風靡しました。

本展覧会は、岡山ゆかりの備前刀への関心を高め、理解を深めることを目的とし、福岡一文字派の作品を中心に、その特徴や見所をご紹介します。

会期：4月1日(土)～5月7日(日)



■徳川美術館

〒461-0023 愛知県名古屋市中区徳川町1017 ☎052-935-6262
https://www.tokugawa-art-museum.jp/

夏季特別展「徳川家康—天下人への歩み—」

慶長8年（1603）、征夷大將軍となった徳川家康は、江戸幕府を開き、約250年も続く泰平の世の基礎を築き上げました。家康の生涯の大半は、室町時代から続く戦国の世にあり、時に命が危険にさらされながらも困難を乗り越え、戦乱の世に終止符を打ちました。

家康が取った選択に注目しながらその波乱の生涯をたどりつつ、家康の人となりから軍事力・政治と学問・茶や香道といった芸能などに焦点を当て、徳川家康像を紐解いていきます。

なお、2023年は、いつご来館いただいても必ず“徳川家康ゆかりの品”がご覧いただけます。

会期：7月23日(日)～9月18日(月・祝)

■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767
https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token/

長船の郷土刀 パートII

備前国は日本一の日本刀の産地です。吉井川下流域の長船を中心とした地域は、多くの日本刀の製作を行っていました。この地域に住む刀工たちは、長い歴史の中でさまざまな流派を形成していきました。代表的な流派には、鎌倉時代初期に福岡地区（瀬戸内市長船町福岡）で興った福岡一文字派、鎌倉時代中期には長船地区（長船町長船）を中心とした長船派が挙げられますが、そのほかにも近隣には畠田派や、吉井川を挟んで対岸には吉井派や吉岡一文字派など、さまざまな派が生まれてきました。

本展では、令和2年度に開催してテーマ展「長船の郷土刀」の続きとして、長船地区を中心とする吉井川下流域で活動していた各流派の刀工を紹介するとともに、刀剣の聖地とされるこの地域の歴史をわかりやすく展示します。会期：4月29日(土)～7月2日(日)

■明治大学博物館

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン地階 ☎03-3296-4448 https://www.meiji.ac.jp/museum/

上古の刀

鉄製大刀は副葬品として数多くの古墳から出土していますが、これらのほとんどが反りを持たない直刀です。一方で、「刀」としてなじみ深い日本刀は反りが特徴の刀剣です。日本刀のこうした姿が成立したのは平安時代後期～末期と言われています。古代の直刀は、いつ、なぜ日本刀へとその形を変えたのか。今回の展示では、明治大学の調査によって出土した古墳時代終末期の大刀5点を展示し、鉄刀の姿の変遷について探ります。明大コレクションでは初の刀剣をテーマとした展示となります。ぜひご覧ください。

会期：2月7日(火)～5月6日(土)

